

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画) : 寄付金について、令和4年度以降も全額(75,180千円)計上した場合

◇水道事業経営に係る課題
 ・人口減少や節水機器による水道料金収入の減少
 ・水道施設の老朽化の進行



◇投資・財政計画の当初試算結果

計画期間(令和3年度～令和12年度)内において、令和7年度に収支ギャップ(赤字)が生じる。
 また、令和5年度に当年度末内部留保資金が赤字となる。

	R1 年度	R5 年度	R7 年度	R12 年度 (10 年後)	R30 年度 (約 30 年後)	R50 年度 (約 50 年後)	備考
当年度 純利益 (千円)	110,535	34,323	△41,030	△185,965	△301,535	△449,775	R7 年度に赤字 発生
当年度末 内部留保資金 (千円)	910,953	△350,674	△1,160,377	△3,287,882	△14,466,071	△27,421,795	R5 年度に赤字 発生



◇投資の合理化及び料金水準の適正化
 ・投資事業の優先順位の見直し
 ・起債充当率の見直し
 ・令和5年度に水道料金を30%の引き上げ



◇投資・財政計画の見直し後の試算結果

計画期間(令和3年度～令和12年度)内において、収支ギャップ及び当年度末内部留保資金の赤字は解消される。

	R1 年度	R5 年度	R7 年度	R12 年度 (10 年後)	R30 年度 (約 30 年後)	R50 年度 (約 50 年後)	備考
当年度 純利益 (千円)	110,535	351,510	269,888	119,070	△1,499	△215,469	R20 に赤字発生 (△1,781)
当年度末 内部留保資金 (千円)	910,953	314,232	678,572	792,436	△4,854,991	△12,037,710	R16 に赤字発生 (△214,747)



・水道事業の持続可能な健全経営
 ・安全・安心な水の供給

(寄付金全額)